

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・売上が前年比で増加している。客単価、来客数が共に徐々に増加している。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・観光客は増加しているが、単価は低くなっている。ビルの建て替え、建築が増えている。しかし、求人は売手市場であり、労働集約型の事業では慢性的な人手不足で、当店でもスタッフが足りず、稼ぎ時の週末に、全ての来店者を入れることができず、機会損失を起している。
		旅行代理店（マネージャー）	来客数の動き	・個人旅行や、企業の出張などの取扱も僅かであるが増えてきている。
		ゴルフ場（経営者）	販売量の動き	・販売単価を上げて、来客数は激減はしていない。総販売量としては増加している。
		住宅販売会社（代表取締役）	来客数の動き	・分譲マンションが完売し、テレビCMも打切りとなった。キャンセル待ちが約40名の状態である。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場者数が前月比で304%、前年同月比で78%となっている。
		スーパー（販売企画）	来客数の動き	・今月も来客数は減少している。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・客室稼働率が前年同月実績を上回っている。前年同月実績に対するプラス幅は3か月前と同様に推移する見込みである。
		観光型ホテル（代表取締役）	競争相手の様子	・沖縄への入域観光客数は、前年同月よりも伸びているものの、新規ホテル、簡易宿泊施設、民泊なども増えている。競争が激しくなっており、悪くはないが、伸び悩んでいる。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・格安モバイルの台頭により厳しい状況は続く。景気の上向き感を感じられない。
	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・冬物衣料品クリアランスは順調にスタートできたが、寒波の影響を受け、春物衣料品の動向が厳しかったり、葉野菜の高騰等で、食料品も苦戦した。	
	x	商店街（代表者）	競争相手の様子	・大型店の場合には薄利多売で、利幅が少なくても数で売上の確保ができるが、商店街の小売店では値下げに限度があり、売れない店が多くなっている。特に衣料品関係に打撃が大きく、危機感が募っている。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		*	*	*
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前と同様に、受注金額はまあまあ良い。
	x	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・第4四半期に入ったが、年度末工事の着工が遅れており、出荷が思うようには進まない。
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		求人情報誌制作会社（編集室）	求人数の動き	・前年10月の週平均件数946件と比較すると、今月は1,053件で107件増加した。季節的な動きで毎年1月は増加する傾向にある。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・新卒の募集件数が増えている。新年度に向けて、企業の採用活動が活発化しており前年より早まっている。
		人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・人手不足により様々な企業からの求人の問合せが多いが、求職者が少ない状況が続いているので、お断りするケースも増えている。
	x	-	-	-